

世界のロケット打ち上げ射場

JAXAウェブサイトには世界のロケット打ち上げ射場が紹介されています。

http://spaceinfo.jaxa.jp/ja/launching_sites.html



本号では、「衛星データの」視点で探ってみましょう。
JAXAウェブサイト原稿を参照しながら衛星データ画像を分析して見ましょう。

アメリカのランドサットデータは、1980年代から入手できます。取り上げているのは次の5基地です。

最近のデータは、センチネル2データです。
昔のデータは、ランドサット5です。

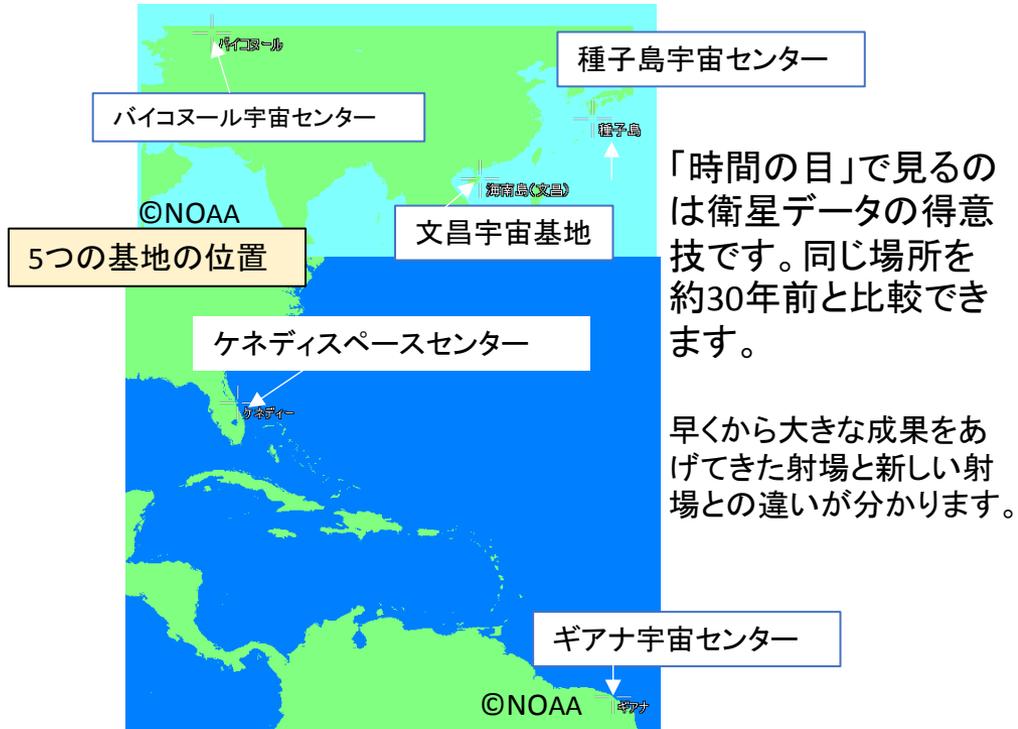
ギアナ宇宙センター
ケネディスペースセンター
バイコヌール宇宙センター
種子島宇宙センター
文昌宇宙基地

センチネル2データ

- ギアナ宇宙センター-20191029
- ケネディスペースセンター-20191215
- バイコヌール宇宙基地20191018
- 種子島宇宙センター-20190427
- 文昌宇宙基地_20190930

ランドサット5データ

- LT05_L1TP_159028_19860428_20170218_01_T1
- LT05_L1TP_123046_19860806_20170221_01_T1
- LT05_L1TP_112039_19840718_20170220_01_T1
- LT05_L1TP_016040_19840514_20161004_01_T1
- LT05_L1GS_227056_19880718_20170208_01_T2



衛星データでは、発射場そのものをくわしく調べることはできません。「センチネル2」のデータでも、空間分解能は10mです。でも、次のことを調べることはできます。

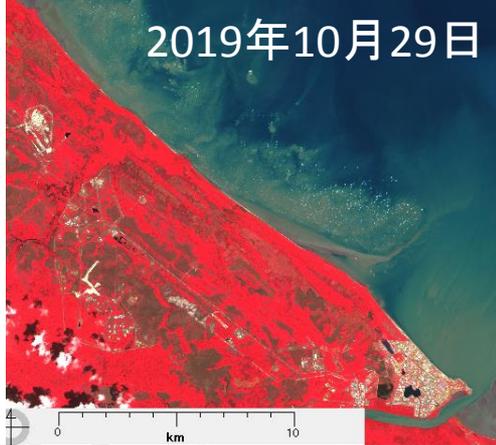
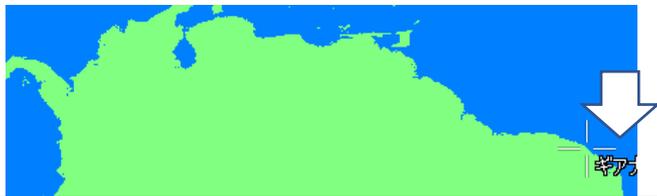
- ・発射場の**全体の様子**
- ・関係資材の運び込みのための**港湾や空港**
- ・ロケット等の**関係建物**
- ・働いている人々の生活関係施設
- ・衛星など追跡施設...
- ・射場周辺の環境

GoogleEarth等で関係情報を調べたり、ウェブサイトで検索すると衛星データで調べたことが輝きます。

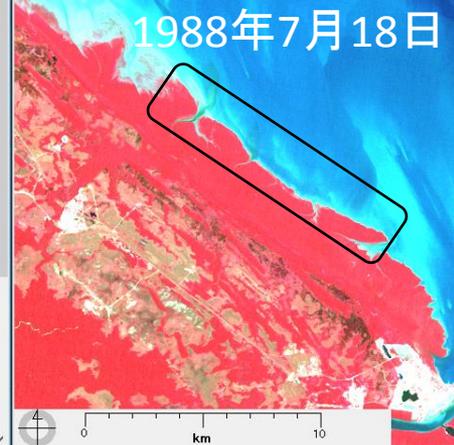
* 本号の2ページ以降の衛星データ©ESA ©USGS
地図は©NOAA

ギアナ宇宙センター

広大な敷地内に多くの施設がつけられている。
海岸線の大きな変化は何だろうか。



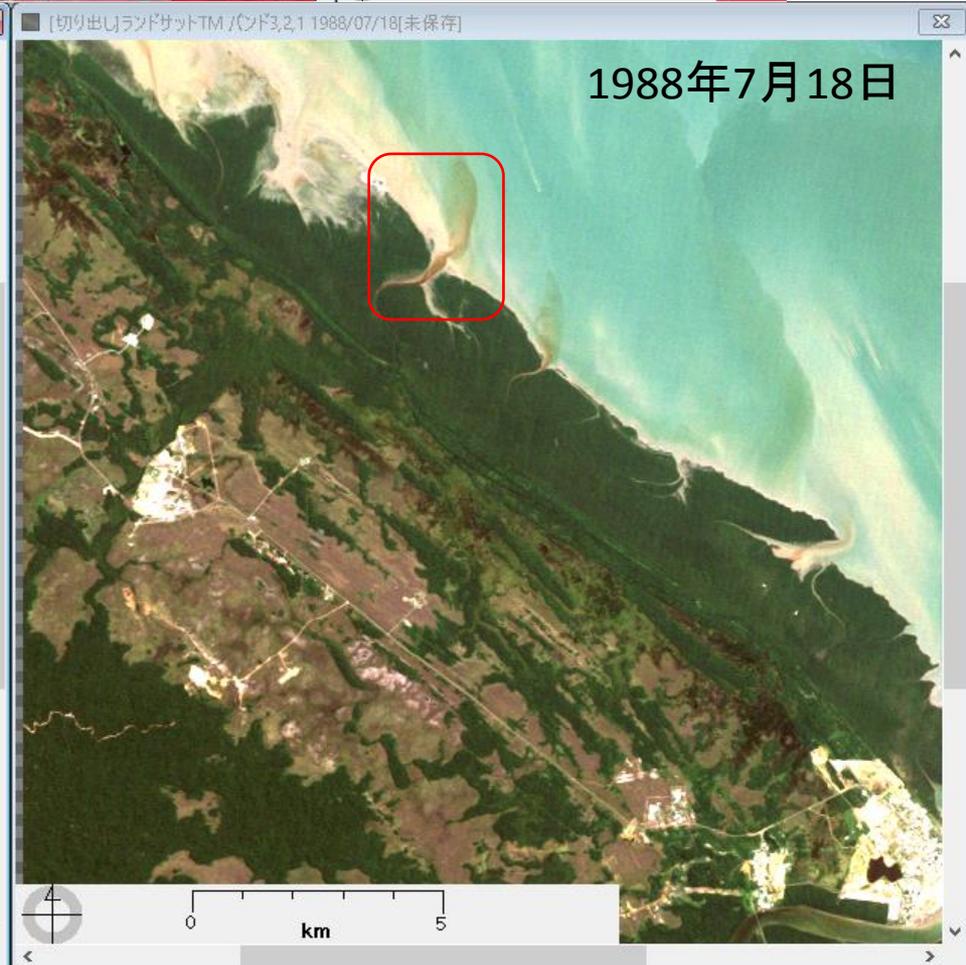
2019年10月29日



1988年7月18日



2019年10月29日



1988年7月18日

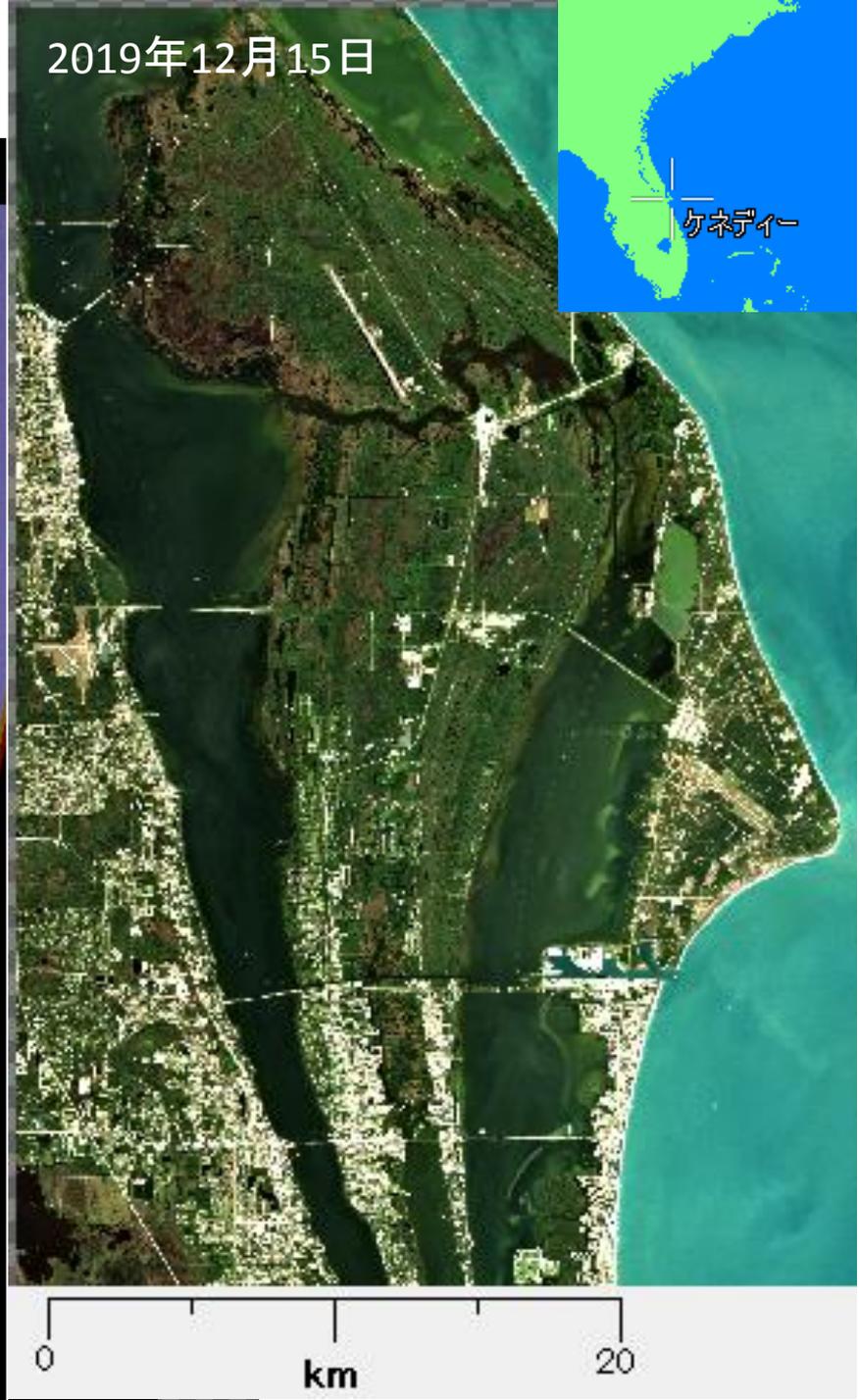
ケネディスペースセンター

1986年当時から大きな変化は少ない

1986年8月6日

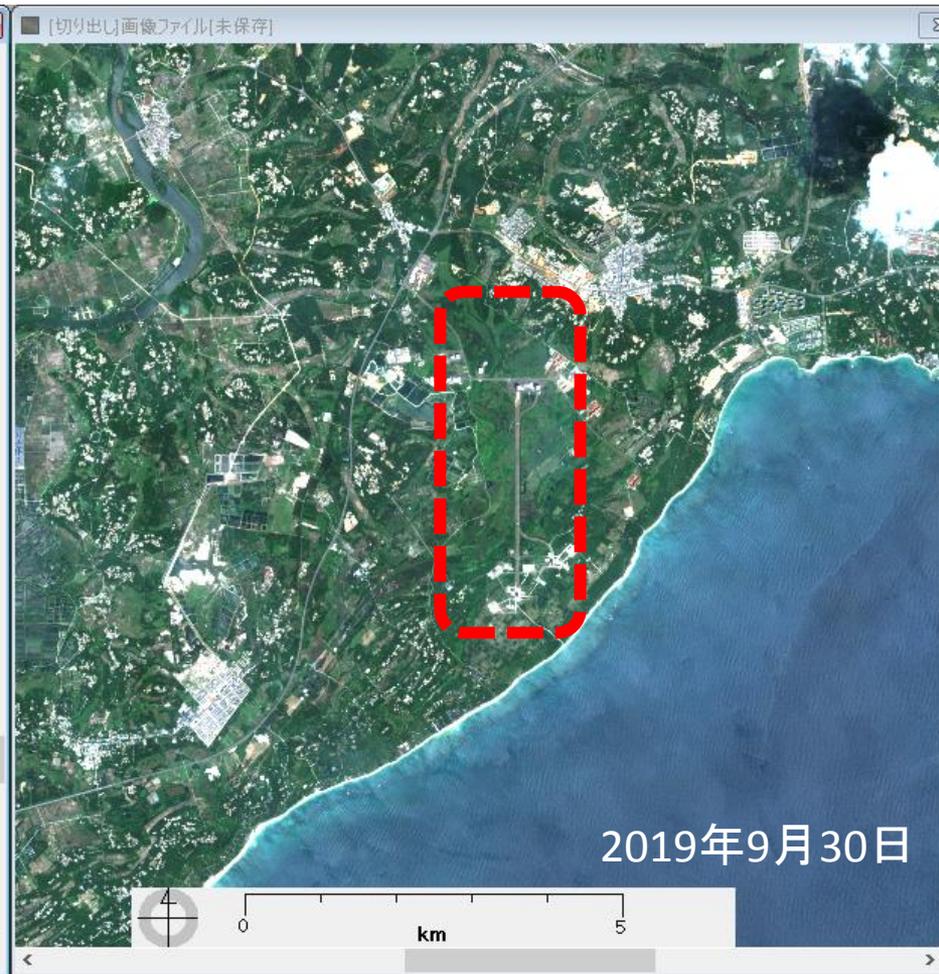
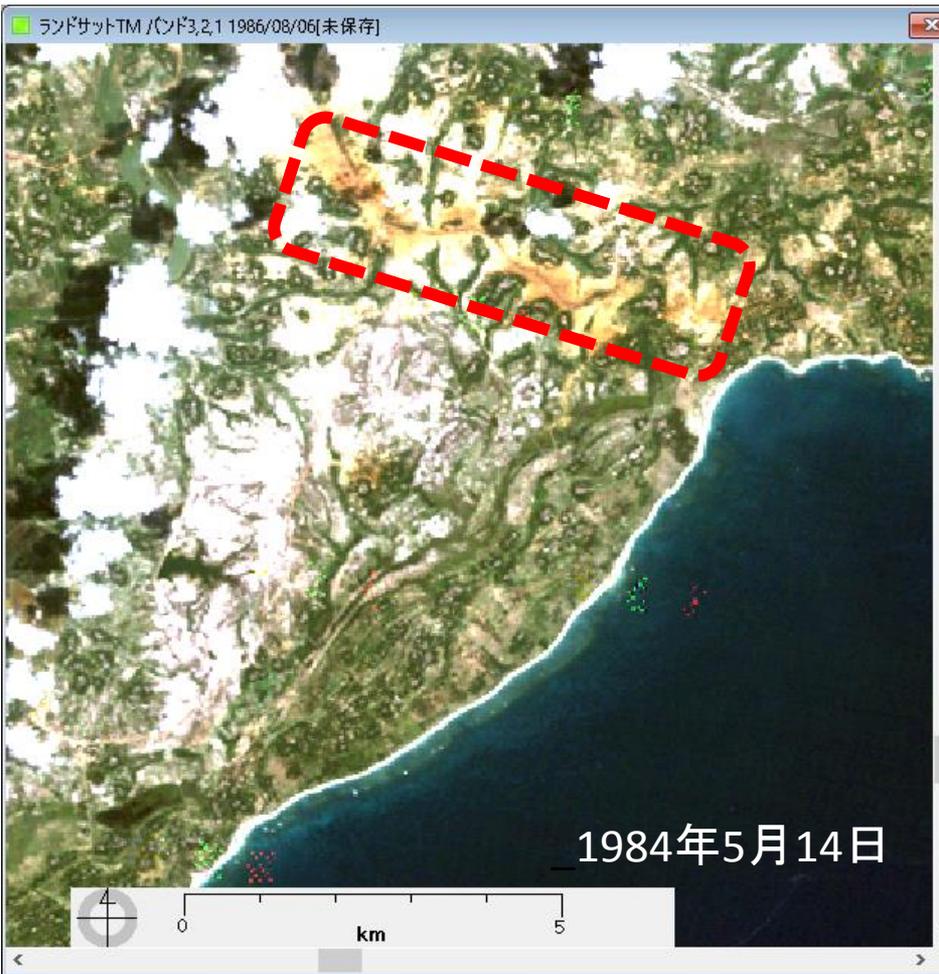
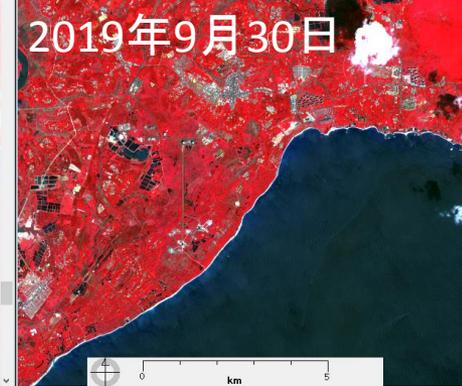
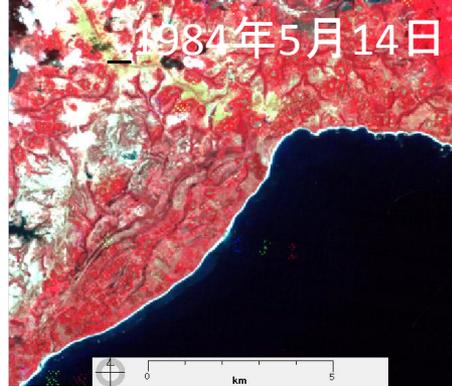


2019年12月15日



文昌宇宙基地

海南島の文昌宇宙基地は近年急速につくられている。中国の他の宇宙基地は内陸にある。太平洋に面し、緯度の低い海南島はこれからますます充実するであろう。



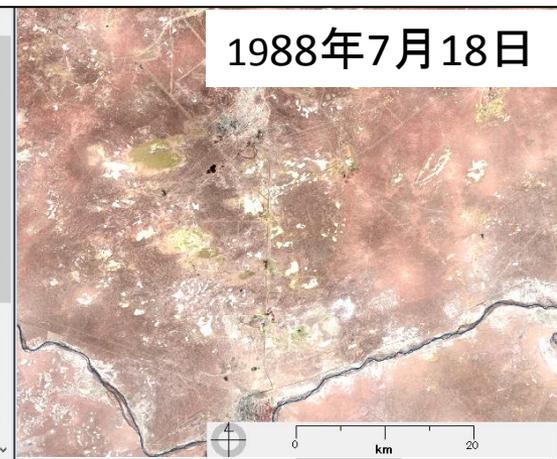
バイコヌール宇宙基地

フォルスカラー

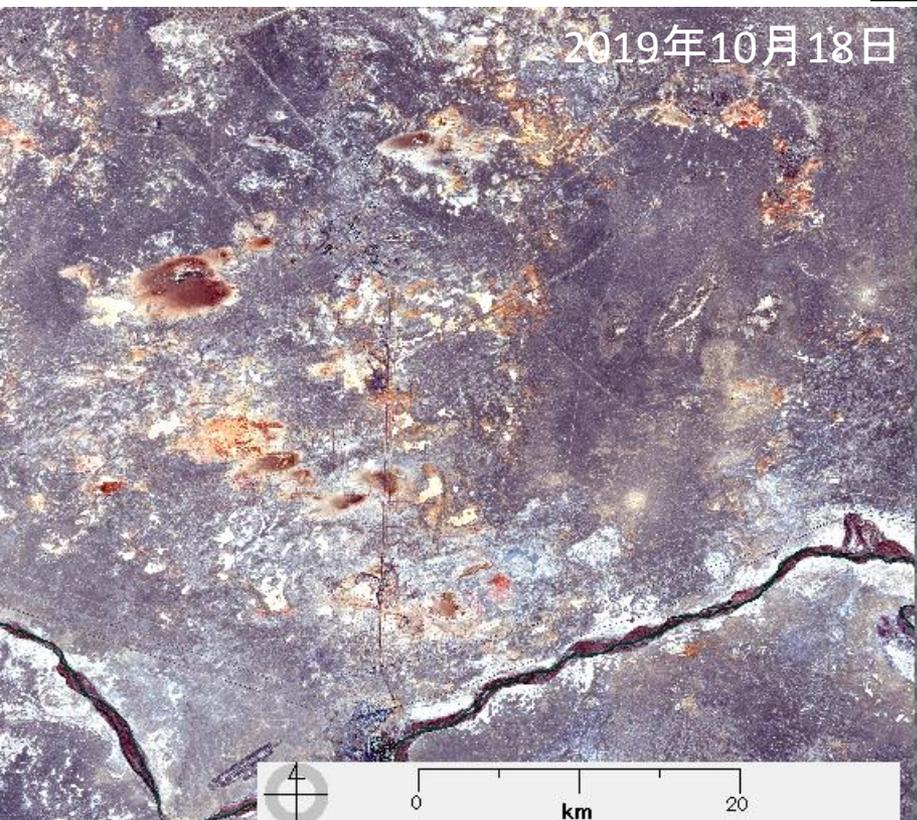
バイコヌール宇宙基地は、長年使用され続けている有名な場所である。南方の河川沿いに緑が確認できるくらいで周辺は緑と縁のほとんどない場所である。広大な敷地内に施設が点在している。



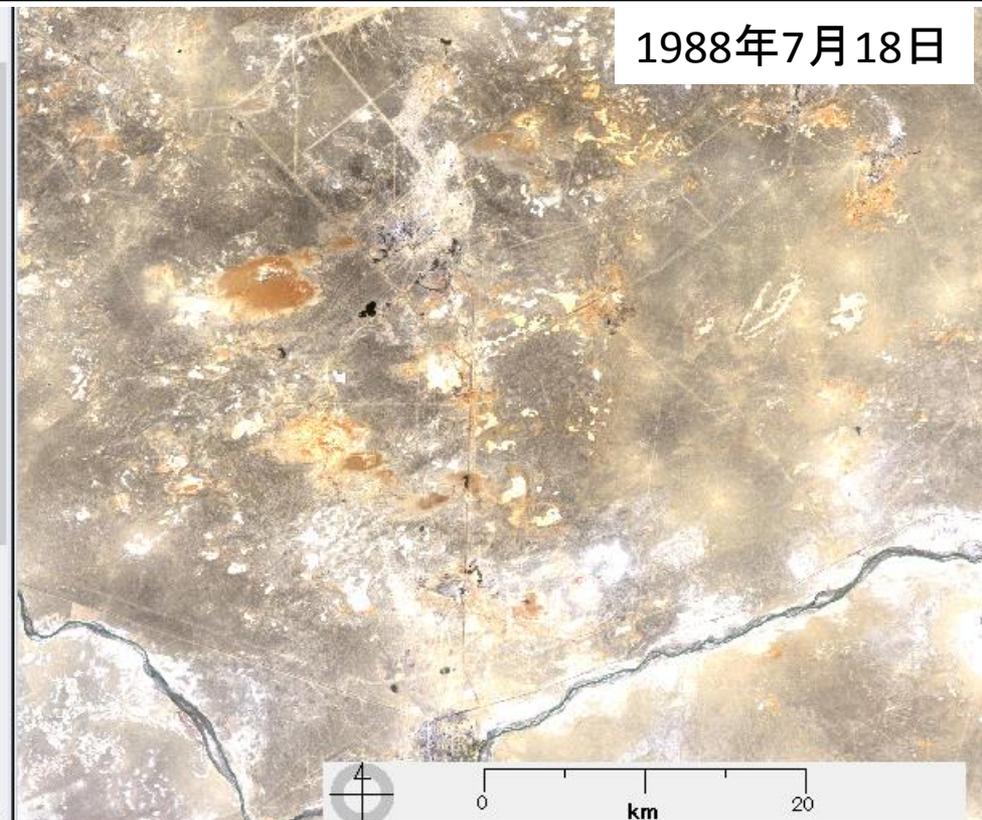
2019年10月18日



1988年7月18日



2019年10月18日



1988年7月18日

種子島宇宙センター

2019年4月27日

日本の種子島宇宙センターである、説明は不要でしょう。
本当に美しい射場です。



1984年7月18日



0 km 2

0

km

2